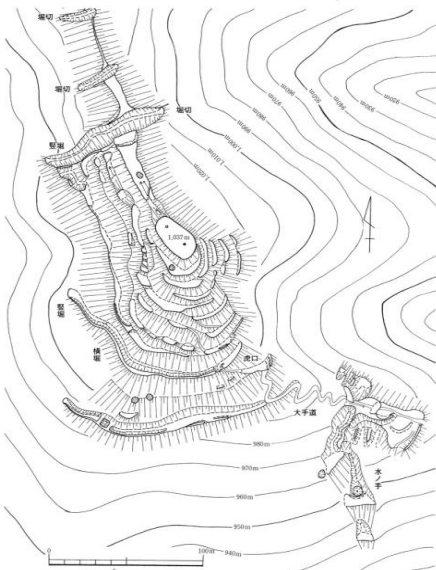


日本最高位に築かれた大規模な葦名氏家臣穴沢氏の山城

# 戸山城



## 戸山城

戸山（とやま）城は桧原湖北側、金山と桧原の間にある山城跡。永禄（えいろく）七年（一五六四）に、葦名（あしな）氏家臣の穴沢加賀守俊恒が、金山や豊富な山間部の資源を支配するための支配する拠点の山城として築城。

「桧原軍物語」には、永禄八年七月十七日、伊達政宗の父、輝宗配下の伊達勢に攻められますが、婦女も参加し総力で防戦し、落城しなかった。伊達勢は七〇人余戦死。翌年城は、岩山城へ移されます。永禄七年・八年という二年間だけ使用され、築城年代が明確で、堀切や土塁などの遺構も良く残されています。

この城は、日本で最高位（一〇三七メートル）に築かれた大規模で拠点的な山城でもあります。

ただし、遊歩道はないため、道はありません。熊に注意してください。

（文責 石田明夫）